

ぐるり30

～自治調査会だより～

2018
11

NO. 062

[発行日]
2018.11.1



【写真提供】昭島観光まちづくり協会 【撮影場所】かたらいのイチョウ並木（国営昭和記念公園内）

- ▶ 市町村共同事業助成事業報告会が開催されました …… 2
- ▶ オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介 …… 3
 武蔵野市 第11回むさしの環境フェスタ
 三鷹市 エコミュージカルとエコイベント
 日の出町 みどりのカーテン普及キャンペーン
- ▶ 多摩交流センターだより
 ・多摩発・遠隔生涯学習講座11・12月開催予定の講座案内 …… 4
 ・東京雑学大学 12月講義案内 …… 4
- ▶ 平成31年度広域的市民ネットワーク活動等事業の助成団体募集 …… 5
- ▶ 平成29年度 調査研究報告書の紹介 …… 6
 「多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究報告書」
- ▶ 調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告 …… 7
- ▶ 編集後記 …… 7
- ▶ とっておきフォトスポット～昭島市～ …… 8

Contents

11月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

市町村共同事業助成事業報告会が開催されました

当調査会では、東京都市長会及び東京都町村会とともに市町村共同事業を推進しています。

平成30年8月6日(月)に、東京自治会館4階の講堂にて、平成29年度に実施された共同事業の中から以下の8事業について、自治体担当者から1年間の成果を報告いただきました。どの事業も助成金を活用し、有意義な事業が実施されていました。

なお、平成30年度の助成内容及び助成事業詳細につきましては、本誌6月号(No.57)P4～7をご覧ください。



▲自治体担当者による報告の様様

(1) 多摩・島しょ広域連携活動助成事業 (※3の事業は、平成30年度から観光振興連携活動事業へ移行)

一般連携活動事業(平成29年度実施団体:20団体)

	連携組織の名称	事業名	構成自治体等
1	ラグビーフェスティバル実行委員会	府中調布三鷹ラグビーフェスティバル2017	府中市、調布市、三鷹市
2	プラチナ未来スクール実行委員会	プラチナ未来スクール	青梅市、羽村市
3*	「高尾山・リニア」広域観光拠点地区連絡会	・外国人観光客市場調査 ・交通ICカードでつなぐ外国人向け「高尾山・リニア地区」モニターツアー	八王子市、あきる野市、神奈川県相模原市、山梨県大月市、山梨県都留市

子ども体験塾事業(平成29年度実施団体:20団体)

	連携組織の名称	事業名	構成自治体等
4	町田市・多摩市・稲城市子ども体験塾実行委員会	町田市・多摩市・稲城市子ども体験塾2017	町田市、多摩市、稲城市
5	5市共同事業実行委員会	5市共同事業子ども体験塾「音楽は世界をつなぐ」	武蔵野市、三鷹市、小金井市、国分寺市、国立市

(2) 多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業

(平成29年度実施団体:27市町村)

	自治体名	事業名
6	国分寺市	祝第34回国分寺まつり 史跡武蔵国分寺跡 秋のスポーツイベント
7	三鷹市	乗馬による体力向上プログラムの構築

(3) 多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業

(平成29年度実施団体:35市町村)

	自治体名	事業名
8	檜原村	檜原村魅力発見事業



▲審査会委員からの講評



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

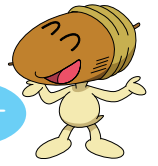
市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。



かれん

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ

1 武蔵野市

第11回むさしの環境フェスタ

Tama

武蔵野市

むさしの環境フェスタは、来場者とイベントに関わる参加者すべてが、環境に配慮した行動、暮らしについて考えるイベントです。

昨年度は武蔵野クリーンセンターでの開催となり、多くの方にご来場いただきました。今年度も同会場で11月11日(日)10:00~15:00に開催し、様々な環境テーマに関する展示・ワークショップを行います。また、今年は環境に関連する戦隊ヒーローによる、ヒーローショーやサイン会なども行う予定で、大人から子どもまで楽しめるイベントとなっています。

どなたでもご参加いただけますので、皆様のご来場をお待ちしております。

【問合せ先】武蔵野市 環境政策課 TEL 0422-60-1841



2 三鷹市

エコミュージカルとエコイベント

Tama

三鷹市

環境について考えるきっかけ作りを目的として、みたか環境活動推進会議と三鷹市の主催で「エコミュージカルとエコイベント」を6月24日(日)に開催しました。エコミュージカルでは、「ネバーランドはECOの島~花と緑のエコロジーランド~」を上演しました。舞台には、オーディションで選ばれた市内在住・在学の小学生43人が登場し、歌と踊りで環境への想いを観客に伝えました。

また、来場者はミュージカル上演前に開催したエコイベントで作成した、ペットボトルマラカスで出演者とともに演奏し、楽しみながら環境について考えました。

【問合せ先】三鷹市 環境政策課 TEL 0422-45-1151



3 日の出町

みどりのカーテン普及キャンペーン

日の出町

Tama

日の出町では、家庭でできる地球温暖化防止を目的に、4月24日(火)~25日(水)にゴーヤ苗の配布を行いました。つる性植物を這わせて作った自然のカーテンは、夏の強い日差しを和らげるため、今年の猛暑には、特に室温上昇を抑える効果がありました。本イベントは、地球温暖化防止もできる上に、美味しいゴーヤを味わうことができるとあって、毎年人気があります。

今後も、町としては、地球温暖化防止に関することを推進していきたいと考えています。

【問合せ先】日の出町 生活安全安心課 TEL 042-597-0511





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



11・12月開催予定の講座案内

177回

題名

ドビュッシー没後100年 作曲のインスピレーションはどこから？ —— 東洋の文化との関連性を探る ——

日時 平成30年11月8日(木) 14:30から約1時間

講師 齋藤 真美 氏(ピアニスト・ピアノ講師)

フランス人であるドビュッシーが、西洋の絵画や文学からだけでなく、東洋の文化からも影響を受けていたということに焦点を当て、関連性を考えます。ドビュッシーが東洋に興味を持つきっかけは何だったのか。また、東洋の文化のどなたところに魅力を感じ、そこから得たインスピレーションを、どのように作曲に反映させていったのかを推察します。



178回

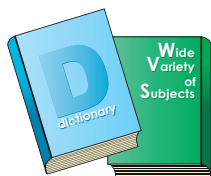
題名 何故歌い続けるのか! 日時 平成30年12月13日(木) 14:30から約1時間

講師 田中 和男 氏(歌手・元防衛大学校助教・元一等陸佐)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2685-3602(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成30年12月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は12月13日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1159回	12月6日(木) 14:00から	公文書とアーカイブ	小川 千代子 氏 (国際資料研究所代表・元藤女子大学教授)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1160回 ※	12月13日(木) 14:30から	何故歌い続けるのか!	田中 和男 氏 (歌手・元防衛大学校助教・元一等陸佐)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター (JR三鷹駅北口 徒歩7分)
第1161回	12月20日(木) 14:00から	旧暦で読み解く平家琵琶	鈴木 まどか 氏 (前田流平家詞曲相伝)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1160回は、第178回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 0422-52-0908(菅原)

～多摩地域の複数の市町村からなる市民団体の広域的な活動を支援します～

平成31年度

広域的市民ネットワーク活動等 事業の助成団体募集!!

「多摩地域を元気にしたい!人の役に立ちたい!」

そんな市民活動を広域的に行っているみなさんのイベントや事業を応援します!!

農林業・商店街活性化支援活動



子育て・障がい者・高齢者支援活動



防犯・防災活動



スポーツ・芸術文化活動



西多摩振興活動



etc.

当調査会では、市町村のワクを越えて行われる市民活動が、より拡大、充実するように支援をしています。現在、市民活動の分野は多岐にわたっていますが、特に、子育て・高齢者・障がい者支援、防犯・防災活動は、より市民の力が必要とされています。皆さんの広域的な活動や成果発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとつづくり、まちづくりへとつなげていきます。

募集期間

平成30年11月5日(月)～12月3日(月)

説明会

平成30年11月9日(金) 18:00～
多摩交流センター 第3会議室

※参加には事前申込が必要です。11月6日(火)までに、下記問合せ先に電話にてお申し込みください。その際、団体名・代表者名・参加人数・ご連絡先を伺います。受付時間:平日9:00～17:00 ※説明会の参加は助成申請の要件ではありません。

※この助成制度は、平成31年度予算の成立を条件とし、その予算の範囲での実施になります。

※詳細はパンフレットか当調査会のホームページ
(<http://www.tama-100.or.jp/>) をご覧ください。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課
東京都府中市新町2-77-1 TEL042-382-7781

「多摩交流センターだより」の問合せ先

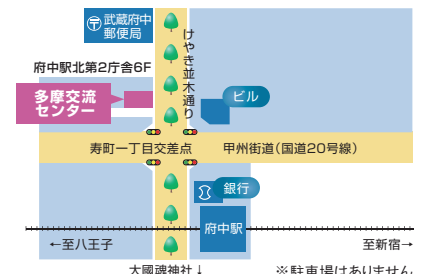
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



平成29年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号(No.56)で概要を紹介した平成29年度の調査研究報告書のうち、5件の調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介しています。今号では、「多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究報告書」を紹介します。本報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) からダウンロードできます。

多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究報告書

1. 背景・目的

多様な働き方の実現は、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に加えて、労働力不足解消や生産性向上に向け、さまざまな制約のある人も働くことができる環境を整備するという観点から求められています。

本調査研究は、多摩・島しょ地域の自治体が、多様な働き方を進める上での課題等を明らかにし、実際に取組を進める上で参考となることを目的に実施しました。

2. 多摩・島しょ地域市町村における働き方の実態と取組状況、課題

(1) 取組を推進する意識や取組を進めやすい環境が整っていないこと

- ・時間外勤務削減、ワーク・ライフ・バランス推進等の取組は多く行われていますが、具体的な成果にまではつながっていません。

(2) 現在の負担が大きい業務状況

- ・時間外勤務は、特定部署や特定業務に集中している可能性があります。
- ・休日業務等で発生した振替休日の取得ができていません。
- ・正規職員の削減、勤務時間の制限がある職員の増加により、多様な雇用形態の職員（臨時職員、嘱託職員、再任用職員など）が増加し、一層の活用が求められています。

(3) 現在の行政サービスのあり方

- ・住民ニーズの多様化や複雑化する社会問題への対応などで、自治体に求められる役割は増加する傾向にあり、職員の業務負担も増加している可能性があります。

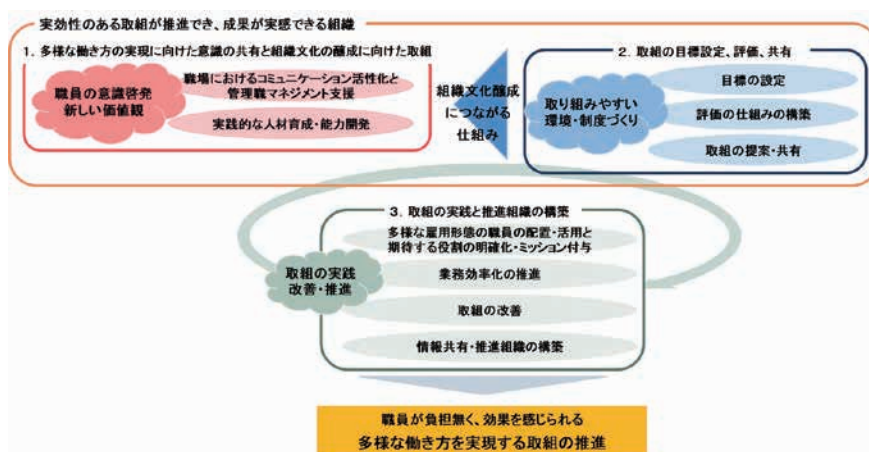
3. 多様な働き方の実現に向けた職場づくりの提言

～職員が負担なく、効果を感じられる、多様な働き方を実現する取組の推進～

- (1) 多様な働き方の実現に向けた意識の共有と組織文化の醸成に向けた取組
- (2) 取組の目標設定、評価、共有
- (3) 取組の実践と推進組織の構築



(多様な働き方を実現する職場づくりの全体像)



調査研究報告書の活用に関するアンケート調査結果報告

当調査会は、毎年度、各種の調査研究報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、ホームページ上(<http://www.tama-100.or.jp/>)でも広く公開しています。

この報告書が自治体の現場でどのように活用されているのかについて把握し、今後の調査研究に役立てるため、5月に多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケート調査を実施しました。

○ 9割近い市町村で事業の参考とされています

調査研究結果の活用状況を見ると、「その年の調査研究テーマによって、個別の行政課題と合致する場合には参考にしている」と回答した市町村は計34団体(87.2%)あり、多くの市町村が調査研究結果を事業の参考にしています(図1参照)。

○ 近年発行の報告書が活用されています

平成29年度1年間の報告書の活用事例をみると、「基礎的な情報、データ等として参考にした」という回答は計15団体あり、活用事例全体の38.4%となっています(図2参照)。

活用された報告書の例

- ・「基礎自治体によるオープンデータ化と利活用の可能性に関する調査研究(平成28年度発行)」報告書を基礎資料として活用した。
- ・「創業による地域活性化と自治体による支援に関する調査研究(平成27年度発行)」女性起業応援に関する事業の実施にあたって、参考とした。

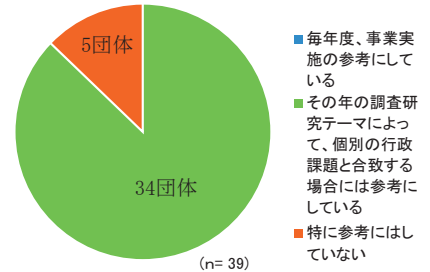
当調査会は、近い将来大きな課題となるようなテーマを選定し調査研究を行っておりますが、これに呼応するように1～5年前に発行された報告書が利用されていることが回答からうかがえます。

一方で、「特に事業の参考にした事例はなかった」という回答も24団体あり、全体の61.5%を占めています。当調査会は、この結果をしっかりと踏まえ、今後も市町村のニーズにあった調査研究に努めてまいります。

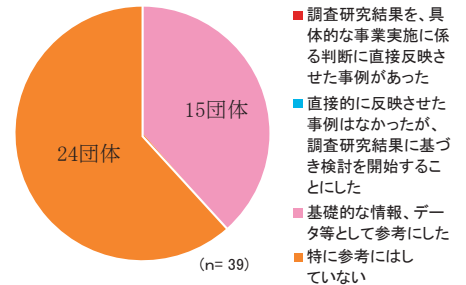
なお、本誌では、報告書の内容をよりご理解のうえご活用いただけるよう、7月号から報告書の概要紹介をコンパクトに掲載しています。

当調査会が、報告書を市町村の要望に基づき、実施する出張フォーラムでも大変参考になったとのご意見をいただいております。是非、積極的にお声掛けくださいますようお願いいたします。

(図1) 調査研究結果の活用(単数回答)



(図2) 平成29年度の活用事例(単数回答)



編集後記

- 秋もしだいに深まり、暦の上では立冬を迎えます。今年も残すところあと2ヶ月となり、年の瀬を控え、何かと気ぜわしく感じられる今日この頃です。
- さて、「平成」もあと半年間となり、この時代を振り返ると様々な出来事がありました。平成元年4月には日本で初めて税率3%の消費税が導入され、11月にはベルリンの壁が崩壊し、翌年には東西ドイツの統一などの出来事があり、激動する時代の幕開けでした。
- また、平成の間に日本各地で起こった災害は様々な教訓を残しています。
 - ・平成7年の阪神・淡路大震災では建物の倒壊による被害軽減のため、耐震基準が変わりました。
 - ・平成16年の新潟県中越地震では、避難場所としての車中泊に伴うエコノミークラス症候群に対する注意が喚起されました。
 - ・平成23年の東日本大震災では津波の際のいち早い避難行動の大切さが大きな教訓として残り、原子力発電所の安全性について大きな議論が起こりました。
 - ・平成28年の熊本地震では、震度7の揺れが3日間に2回発生し、地震直後の帰宅が危険な場合があることを示しました。
 - ・今年起こった北海道胆振(いぶり)東部地震では都市における停電(ブラックアウト)対策の重要性がクローズアップされています。

さらに、頻発する豪雨災害も温暖化の影響による気候変動が一因と考えられ、環境保全活動の機運の高まりにつながっています。

- 社会経済の分野では平成13年の米国同時多発テロや平成20年にはリーマンショックが起こりました。世界に広がる社会不安や好景気から一転して長く続いた不況は、地球の裏側で起こった出来事が日本社会にも大きな影響を与えるなど、改めて世界はつながっていることを教えてくださいました。
- これまで経験のない出来事が次々と起こる今日です。しかし、新しい時代を迎えるに当たって誰もが願うのは、安心・安全な生活を送れる社会の構築であることは異論のないところだと思います。

そのためには、まず、一人ひとりが他を認め、つながりつつ自立する強い「個」となることが重要です。言い換えると「多様性を認め、自立し連携する社会風土」の構築です。自治体の責務も重大です。

新しい時代に向けて、「たとえ明日世界が滅ぶとも、今日私はリンゴの木を植える」の言葉のとおり、何があるうとも不断の努力と揺るがない理念のもとでより良い地域社会づくりに邁進したいと考えます。(M. N)

(写真) 多摩地域の顔のひとつであるサンリオピューロランドがオープン(平成2年12月)



とっておきフォトスポット

第11回 昭島市

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「大神公園」と「拝島公園」を紹介するよ。



大神公園

@WATAGE



野球場とサッカー場がある河川敷の公園だよ。古くは大神町と八王子市平町を結ぶ渡しがあったんだって。天正時代に八王子城を視察した徳川家康がここを渡って川越方面に向かったという伝承があるそうだよ。一時期は大神町にある成隣小学校の通学にも渡し舟が使われていたんだって。

撮影のPOINT!

- 秋の夕景がきれいに撮影できるよ。逆光をうまく利用して撮影してみよう。
- JR八高線の鉄道橋を手前に入れるかどうかで写真の雰囲気が変わるよ。
- 最近では堤防の舗装もされて、また違った風景が撮れるそうだよ。



拝島公園

@WATAGE



大日堂、日吉神社をはじめ文化財や史跡がたくさんある静かな公園だよ。旧跡の「おねいの井戸」は室町時代に北条氏に仕えた重臣の娘の眼病を治したという言い伝えがあるんだって。湧水が豊富な昭島らしい伝説だね。紅葉、雪景色、藤の季節など1年を通してさまざまな景色が楽しめるよ。

撮影のPOINT!

- お正月は拝島大師のだるま市、9月は日吉神社の例大祭、神祭が行われるよ。
- 樹齢800年以上の藤棚「拝島のフジ」は都の天然記念物。4月末から5月初旬に見頃を迎えるから、撮影に来てね。
- 仁王門や鳥居から覗いた景色も撮影してみよう。



[現地案内]

←◆かたらいのイチヨウ並木(昭和記念公園内) [表紙掲載]

「東中神駅」から昭島口まで徒歩10分、園内徒歩6分
「西立川駅」から西立川口まで徒歩2分、園内徒歩12分

◆大神公園→

「昭島駅」から徒歩30分、「拝島駅」から立川バス「立川駅北口」行きで「成隣小学校」下車。徒歩5分。

◆拝島公園→

「拝島駅」から徒歩25分、「拝島駅」から立川バス「立川駅北口」行きで「拝島大師」下車。徒歩1分。



[情報・写真提供] 昭島市市民部産業活性化課 TEL 042-544-5111 (代表) 昭島観光まちづくり協会 TEL 042-519-2114



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

注意

【発行日】平成30年11月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。